２０２６年度　市立函館高等学校　シラバス

教　科	科　目	単位数	年次・コース	教　科　担任
保健体育	保健	1	1年次	猪股　整・石郷岡　純一

使用教科書	現代保健体育（大修館）	使用副教材	現代高等保健体育ノート

科目の目標	道徳教育のねらい
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を身につけます。	健康的な生活習慣の確立や交通規範の向上、応急手当の実践から自らの安全だけではなく、他者への思いやりや他者との適切な関わりについて考えさせる。

	学習活動内容	育てたい６つの力（資質・能力）1 主体的学習力	2 基礎力	3 思考・分析力	4 発信・表現力	5 自己認知・協働力	6 計画実行力
1	1　事故の現状と発生要因		○				○
	2　安全な社会生活		○	○			○
	3　交通における安全		○		○		○
	4　応急手当の意義とその基本		○	○	○		○
	5　日常的な応急手当		○			○	○
	6　心肺蘇生法	○	○			○	○
2	3　生活習慣病の予防と回復		○	○	○		○
	4　がんの原因と予防	○	○				○
	5　がんの治療と回復	○	○				○
3	6　運動と健康		○			○	○
	7　食事と健康		○			○	○
	8　休養・睡眠と健康		○			○	○
	9　喫煙と健康	○	○		○		○
	１０　飲酒と健康	○	○		○		○
	１１　薬物乱用と健康	○	○		○		○
4	１２　精神疾患の特徴		○			○	○
	１３　精神疾患の予防		○	○		○	○
	１４　精神疾患からの回復		○	○		○	○
	１５　現代の感染症	○	○				○
	１６　感染症の予防	○	○				○
	１７　性感染症・エイズとその予防	○	○			○	○
	1　健康の考え方と成り立ち	各単元の補足説明として活用する単元					
	2　私たちの健康のすがた						
	１８　健康と関する意志決定・行動選択						
	１９　健康に関する環境づくり						

	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	「現代社会と健康」及び「安全な社会生活」について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。	「現代社会と健康」及び「安全な社会生活」について、課題の解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表している。	「現代社会と健康」及び「安全な社会生活」について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。
評価の方法	単元テストや小テストで評価、調べ学習レポート等	授業でのグループ討議・発表、提出物で評価	授業態度・ノートや提出物・参加する姿勢で評価

1年保健　授業計画

学習指導計画					実施状況		
	月 （時数）	単元・考査等 （配置時数）	学習のねらい	学習内容 （配当時間）	単元 実施 時数	実施反省	
前期	4月 5月 6月 7月 8月 9月	・オリエンテーション 「安全な社会生活」 1，「事故の現状と発生要因」 2，「安全な社会の形成」 3，「交通における安全」 ４，「応急手当の意義とその基本」 ５，「日常的な応急手当」 ６，心肺蘇生法 「現代社会と健康」 ３，生活習慣病の予防と回復 ４，がんの原因と予防 ５，がんの治療と回復 14時間	・交通事故の現状を理解し、社会的な資質を養う。また、日常の応急手当、心肺蘇生法の理論・知識を学び、実践力を身につける。 ・わが国における健康水準の向上や健康問題の変化の背景を理解し、健康的な生活習慣の確立に必要な資質や能力を養う基礎を身につける。	①第1ブロック 「安全な社会生活」 １．２．３．４．５．６ ②第2ブロック 「現代社会と健康」 ３．４．５． ※各ブロックで小テスト、調べ学習を実施する。		前期	
後期	10月 11月 12月 1月 2月 3月	【範囲】 ６、運動と健康 ７、食事と健康 ８、休養・睡眠と健康 ９、喫煙と健康 １０、飲酒と健康 １１、薬物乱用と健康 １２、精神疾患の特徴 １３、精神疾患の予防 １４、精神疾患からの回復 １５，現代の感染症 １６，感染症の予防１７，性感染症・エイズとその予防 ★調べ学習の取組 21時間	・心の健康について学習し、高校生活における自分自身と照らしあわせながら、日常生活に生かす。 ・わが国における感染症の現状を理解し、予防策について理解を深め、実生活に応用する。 ★自身の興味ある健康課題について深く調べてまとめあげる。	③第3ブロック 「現代社会と健康」 ６．７．８．９．１０．１１ ④第4ブロック 「現代社会と健康」 １２．１３．１４．１５．１６．１７ ※各ブロックで小テストや調べ学習 ★1年間の通じた内容から深く調べるテーマを設定し「調べ学習」を実施する。		後期	